

# ユニセフで働きたい

## 国際公務員への道

「ユニセフの職員になるにはどうしたらよいのでしょうか」「どんな勉強をすればよいのですか？」という質問が中高生からよく聞かれます。

ユニセフは国連機関の一つですから、ユニセフの職員になるということは国際公務員になるということも意味します。ユニセフをはじめとした国連機関の職員になる道は様ではなく、仕事の内容もさまざまです。今回は国際公務員になるためのさまざまな道をご紹介します。



©UNICEF/HQ98-0132/Jeremy Hartley

## INTERVIEW

インタビュー

実際にユニセフで働いている日本人職員はどのような人？ ユニセフ・モンゴル事務所で働く<sup>なる</sup> 棚田雄一<sup>ゆういち</sup>さんにお話をうかがいました。

Q. どのようにしてユニセフ職員になったのですか。

A. 日本の外務省が実施しているJPO試験に合格して準職員になりました。モスクワの大学院で学んだ経験があるので、比較的ロシア語が通用するモンゴルに赴任することになりました。(JPOについては次ページ参照)

Q. ユニセフではどういう仕事をされていますか。

A. わたしは広報官という立場なので、ユニセフ・モンゴル事務所が行っている活動を文書等にまとめて発表したり、いろいろな会議の開催に関わったりしています。この前も、モンゴル各地から中高生が集まって子どもの権利条約などについて話し合う「ワンワールドユース会議」を開いたんです。モンゴルの子どもたちはとてもアクティブです。この会議を通じてモンゴルの子どもたちの積極的な社会参加を手伝うことができたのはやりがいがありましたね。

Q. ユニセフの仕事の特徴はどんなことですか。

A. (ユニセフの活動方針は)「子どものための世界サミット」で話し合われたことや「子どもの権利条約」に基づいているので、何のために活動するのか目標がはっきりしています。途上国の子どもたちとおかあさんに的を絞った活動を行っていることも大きな特徴ですね。

Q. モンゴルで国際公務員として働く上で意識することは何ですか。

A. 援助等にかかわっている外国人がたくさんいますが、外国人同士で固まるのではなく、機会をとらえてモンゴルの人々とできるだけ接し、人びとの暮らしや環境を理解しようとする努力を忘れてはいけないと常に思っています。援助とは互いに学びあう関係だと思えます。LOVE(共感すること)、PEACE(平和を求めること)そしてRESPECT(人々を尊重すること)をモットーにしています。

Q. ユニセフの職員になるためにどのような勉強をするとよいですか。

A. まず保健、教育、国際関係などの分野で修士号をとることですね。途中で就職して社会経験を積むことはとても意味があると思います。そして、英語のほかに国連公用語をもうひとつ勉強しておくことです。アフリカならフランス語、中南米ならスペイン語を勉強しておけば、事務所もたくさんあるので、働ける可能性も高くなります。また、開発途上国に旅行したりNGOのスタディツアーに参加するなどして途上国の実情についての理解を深めることです。先進国のものさしで途上国を開発しようとするのは傲慢ですし、結局はうまくいかないものです。

Q. ユニセフ職員を目指すみなさんにメッセージを

A. 繰り返しになりますが、LOVE & PEACEの気持ちをぜひ持ちつづけてほしいと思いますね。

## PROFILE 棚田雄一(たなだ ゆういち)さん

早稲田大学卒業後、NHK入局、報道局ディレクターを務める。

NHKを退職し、モスクワ大学大学院でCIS諸国研究で修士号取得。

帰国後JICAに勤務の後、ユニセフ・モンゴル事務所で広報官として勤務。



## 採用に関する原則

国際公務員になるにあたっては国際連合憲章第101条に、職員の採用にあたっての原則が規定されています。

世界中から広く公平な立場で優秀で最高水準の人材を採用すること  
加盟国からの分担金と職員数の間に関連性をもたせること

# 国際公務員になる方法

## 1 国連職員採用競争試験

国連に支払う政府の分担金の割合と比較して、その国出身の専門職職員の人数が少ない国の人を対象にして国連本部が実施する試験。専門分野は多岐にわたっており、この試験の合格者のほとんどは修士号以上の学歴を持っている。

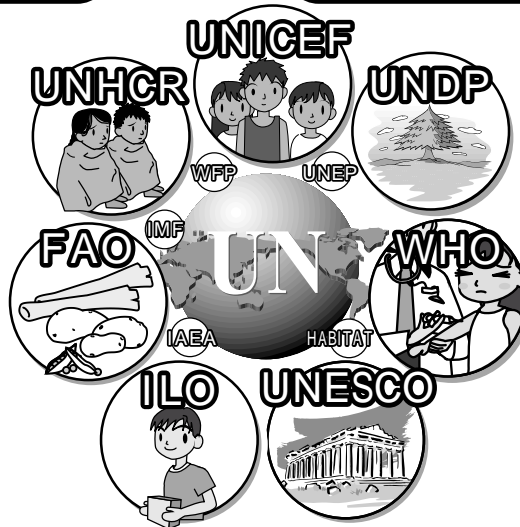
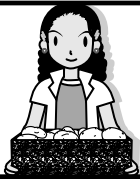


## 2 JPO (Junior Programme Officer) 選考試験

外務省が主催し、若手日本人に準専門職職員として原則2年間国連機関に勤務する機会を与える制度。これは機関によってはAssociate Expertとも呼ばれる。この選考試験を受けるには修士号以上の学歴が必要。この制度で実力を認められれば、正規職員になる場合も多い。

## 3 ミッションによる選抜試験

これは実務経験が豊富で即戦力となる専門家を採用するために国連機関の担当官が来日し、適任者がいれば正規職員として採用あるいは有資格者として候補者リストに登録する制度。



## 4 ポストへの応募

国連機関に空席が生じた場合は、通常その空席ポストが世界中に公募される。その空席への応募が4番目の方法。世界中の有資格者を対象とし、国連機関内では最も一般的な募集方法。

## 5 政府・関連機関からの出向

国連機関が政府間機関であることと、とくに専門機関において高度の専門性を有する職員が必要とされることから、関連省庁等から短期、長期の形式で、国連機関に職員が派遣されることがある。

## 6 ロスター登録

これは国連機関勤務志望者の経歴を外務省国際機関人事センターに登録し、国連機関からの採用ミッション来日の際の公募ポストや、国連機関からの空席ポスト通知等に迅速に対応することができるよう設けられている制度。ロスター登録の対象となるのは専門職と管理職で、ロスター登録の有効期間は2年間。

## 国際公務員 Q&A

### \* いろいろな国で仕事をするの？

ユニセフのような開発支援型の機関のインターナショナルスタッフの場合、職種にもよりますが任国は数年ごとにくっついていくのが一般的です。

### \* 資格は？

棚田さんのインタビューにもあるように、原則として大学院を出て修士号を持っていることが必要です。多国籍な職場ですから多くの場合英語が共通語です。英語で仕事ができることは必要不可欠です。

### \* 日本ユニセフ協会で働いている人は？

日本ユニセフ協会は日本におけるユニセフ支援の窓口となる民間の組織です。ですから、日本ユニセフ協会の職員は国際公務員ではなく、職員の採用も独自に行っています。活動の中心は、日本国内でのユニセフ事業の広報及び募金の呼びかけなどです。

### \* 職場には外国人のスタッフしかいないの？

それぞれの事務所ではインターナショナルスタッフとその国の中から採用されたローカルスタッフと一緒に働いています。ローカルスタッフはインターナショナルスタッフの言葉の面での不足を補ったり現地の人びとの橋渡しをしたりといった役割などを担っています。

### 日本での国際機関の採用等に関する情報の窓口

外務省総合外交政策局国際社会協力部国連行政課国際機関人事センター

〒100-8919 東京都千代田区霞ヶ関2-2-1

電話：03-3580-3311 (内線2841)

\* 外務省のホームページでも採用情報が見られます

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/saiyo/kuseki/index.html>